

# 有グノカルチャー

[発行元]

有田振興局

農林水産振興部農業水産振興課

有田郡湯浅町湯浅 2355-1

TEL:0737-64-1273

FAX:0737-64-1274

## 明けましておめでとうございます

皆様方におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は、県行政とりわけ地域農業の振興に格別のご理解、ご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、ご承知のように環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉の大筋合意により、関税削減による長期的な影響が懸念されるなか、国では「攻めの農林水産業への転換」に向け、農林漁業者の経営発展に向けた体質強化対策を講じているところです。このような中、産地においても競争力強化・体質強化や生産現場の強化を図り強い農業の実現をめざすため、次世代を担う経営感覚に優れた担い手の育成、農地集積・集約化の推進、高品質生産技術の導入など現場が直面する諸課題の解決に向け各種施策を活用しながら皆様とともに、職員一丸となって取り組む所存でございますので、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



有田振興局 農林水産振興部 農業水産振興課 課長 竹中一誠  
職員一同



## 普及事業の取組

農業水産振興課では、有田地域の現状と将来の方向を見据え、課題解決に向けて普及指導計画を策定し、それに基づいた取り組みを行っています。

### 重点課題（H27～H29）

### 有田みかん産地の活性化

有田川町賢地区のマル賢共選組合をモデル共選として位置づけ、有田みかんの更なるブランド化に向けて取り組んでいます。平成28年は3カ年計画の2年目で、主な活動内容と成果は下記のとおりです。

#### (1)高品質安定生産対策

- ①浮き皮の発生が少ない県オリジナル品種「きゅうき」の適地への植栽を推進。
- ②植物ホルモン剤を活用した浮き皮果や果皮障害果の発生軽減技術の地域への波及。
- ③高品質果実生産のための後期重点摘果や樹上選別の徹底。
- ④共選生産部、JAありだ営農指導員と連携して、各種栽培研修会を開催し、栽培技術の高位平準化を推進。

#### (2)担い手育成に対応した体制づくり

新規参入した1名への農地の紹介や技術面でのアドバイスを共選生産部員が行うとともに、技術研修を通じて、技術習得や仲間づくりを支援しています。

今後も、共選内での栽培面積を維持し、生産量を確保するため、多様な担い手の確保育成に共選とともに努めていきます。

#### (3)将来ビジョンをもつ組織モデルの育成

共選が一つの農業経営体となるべく、法人化に向けた勉強会等を行っています。今後も、共選役員と共選のあり方について協議を重ねていきます。

これらの取り組みは今年で最終年となります。残された課題解決に向けて、マル賢共選生産部やJAありだ吉備営農センター、果樹試験場と連携して引き続き取り組めますので、ご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



きゅうき苗木研修会



きゅうき試食検討会



摘果講習会

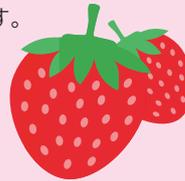
### 一般課題 (H27~H29) 「まりひめ」の安定生産による産地強化

県のオリジナル品種である‘まりひめ’は、有田管内のいちごの約80%を占めています。

‘まりひめ’は果実品質・収量性に優れた品種ですが、炭疽病や芯止まりの発生が多いなど課題があります。農業水産振興課では、平成27年度より‘まりひめ’安定生産に向けた支援を行っています。

平成28年度産については、以下に重点を置いて支援しています。

- ① 土壌診断の実施に適正な肥培管理
- ② 栽培研修会の実施
- ③ 花芽検鏡による適期定植の指導
- ④ 高設栽培での安定生産に向けた養液管理



有田地方いちご生産者研修会



花芽検鏡の実施

### 一般課題 (H27~H29)

### 新規就農者及び担い手の育成

Uターンして新たに農業を始めた就農者や若い農業者を対象に、温州みかんの栽培技術の習得や経営感覚に優れた農業者の育成、お互いの情報交換などを目的として、年間を通じて農業技術研修等を行っています。

今年度は、5月に有田川町の苗木店の上山壽一氏(地域農業士)を講師に迎え、「温州みかん苗木の栽培管理研修」(参加者12名)を、6月に有田川町の嶋田勝彦氏(指導農業士)を講師に迎え、「温州みかんの摘果研修」(参加者10名)を行いました。

今後は、農業経営研修とみかんの剪定研修を実施する予定です。



摘果研修会



苗木の栽培管理研修会

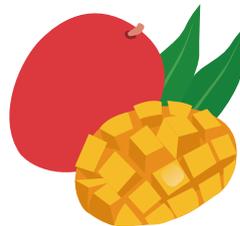
## 農業団体の活動

### 有田地方農業士協議会女性部会

農業士協議会女性部会(部会長:酒井正子氏、部会員14名)は、会員間の親睦を深め、女性視点での農業振興を考えていくために活動しています。

6月17日の第1回研修会では、近畿大学附属湯浅農場の見学と今後の活動についての意見交換会を行い、9月8日には農家研修中の農林水産省職員を交えて意見交換会を行いました。

2月には女性林業研究グループの会員を講師に迎えて、第2回研修会を開催する予定です。他分野で活躍する女性たちと交流していく中で、女性農業士としてどのような活動を進めていくかを考えていきます。



農水省職員と意見交換



マンゴー施設の見学

### 和歌山食材テロワール事業が有田で開催されました

県では、平成26年度から「和歌山食材テロワール事業」として、「辻製菓マスターカレッジ」と連携し県内農産物のPRに取り組んでいます。

7月23日には、有田地域でみかんの摘果体験やシンポジウムが開催され、パティシエの卵である辻調の学生と有田管内の青年農業士、4Hクラブ員による意見交換も活発に行われました。



摘果体験



意見交換

※テロワールとは・・・

ワインによく使われる言葉で、土地特有の条件により原料のブドウの味が異なるため、それぞれの土地の生育環境をテロワールと呼びます。

## 農地中間管理事業



農地中間管理事業のイメージ図



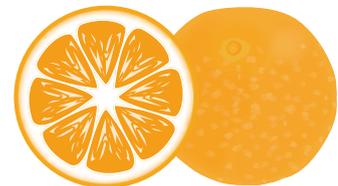
### 担い手への農地集積・集約化でみかん産地を守りましょう

「高齢のため農業が辛くなった」、「後継者がいない」等の理由で農地を誰かに貸したい方を募集しています。

平成26年度より始まった新しい農地貸借事業である「農地中間管理事業」を活用すると、公的機関である和歌山県農業公社が、貸したい方と借りたい方の間に介入しますので、安心して農地の貸借が行えます。

複数の農地を貸している方、借りている方は、農地中間管理機構を利用することで契約・支払い事務等のやりとりを一本化できます。

詳しくは、JAありだまたは農業水産振興課にご相談ください。



## 鳥獣被害は適正な防護柵で防止出来ます！

### 有田地域の鳥獣被害の現状

平成27年度の鳥獣による農作物の被害状況は、被害面積約220ha、被害金額約5800万円で、被害全体でイノシシによるものが55%、サル11%、シカ21%を占めています。

野生動物の個体数増加により、イノシシによる圃地の掘り返し、石垣の崩壊、サルによるみかん等の食害、シカによる樹体被害など様々な被害が増えてきています。近年、ヒヨドリやカラスによる食害も増加していることから、加害動物を考慮して複合的な被害防止対策に取り組ましましょう。

効果的な鳥獣害対策は、環境整備・防護・捕獲の3つの柱からなる総合的な取組が必要です。

- ◆ 環境・・・動物の工サ場や住処をなくす
- ◆ 防護・・・農作物を防護柵で囲む
- ◆ 捕獲・・・被害を及ぼす鳥獣の駆除



イノシシによる石垣の崩落被害



地獄式囲いワナにかかったサル

### 技術と対策

野生動物個体数の増加要因は不用意なえさの提供です。収穫しない果実等は、野生動物にとって格好のえさとなりますので、鳥獣被害を減らすために、それらのえさ場をなくす環境整備対策、防護柵等設置による農作物防護、さらに加害鳥獣の捕獲による個体数減少が必要となります。

### 防護柵設置のポイント

- 防護柵は、見回り、補修などの維持管理が大切です。
- 設置する場合は近隣の方とよく話し合ってください。
- 鳥獣種や作物にあった防護柵を設置しましょう。

**防護柵は設置した時点が鳥獣害対策のスタートです**

### 防護柵の設置補助

- 2戸以下の農家で設置する場合(防護柵等設置支援事業・県単事業)  
補助率:2/3(県1/3以内、市町村1/3以上)  
事業の上限:900円/m以内(イノシシ・シカ)、2,000円/m以内(サル)  
防護柵以外の経費の上限:54,000円/10a以内(鳥害対策用)
- 3戸以上で設置する場合(鳥獣被害防止総合対策事業・国庫事業)  
補助率:施工費込の定率補助か、資材費のみの定額補助を選択可能。



シカによるみかんの樹体被害

鳥獣害で困ったら、農業水産振興課までお気軽にご相談ください。



## クリスマスみかんツリーへの取組

### 事業の目的

近年、バレンタインデーのチョコレートや節分の恵方巻など、従来からある行事にアイテムを追加しPRすることで消費拡大を図る商法がよく見られます。

一方で温州みかんはカナダではクリスマスに食べる聖なる果実として、「クリスマスオレンジ」と呼ばれ珍重されています。クリスマスシーズンは有田みかんの最もおいしい時期でもあります。そこで農業水産振興課では関係機関の協力を得て、「クリスマスみかんツリー」を用いた有田みかんPRを平成27年度から実施しています。



### 本年度の取組

#### 【京都駅でのPR】

ブランドありだ果樹産地協議会が行う有田みかんPRに併せ、11月18日にクリスマスみかんツリーのチラシ2,000枚を配布しました。



#### 【銀座三越でのPR】

県とJAグループ和歌山が行う「ココ・カラ。和歌山 in 銀座三越」において、クリスマスみかんツリー教室を行いました。11月19日～20日の2日間で約100人が参加しました。



#### 【首都圏出前授業でのPR】

JAありだ共選協議会が首都圏で行うみかんの出前授業（12月8日～9日、12校）において、クリスマスみかんツリーのPRを行いました。



#### 【有田管内でのPR】

平成27年度に駅や郵便局、銀行等にミニクリスマスみかんツリーを配布しました。今年度は昨年の配布先約90カ所にミニクリスマスみかんツリーを改めて配布し、掲示をお願いしました。



## 受賞者の紹介



### 農林水産業賞【農業部門】 いとう ひろふみ 伊藤 博文 氏 (広川町)

伊藤氏は、弟家族と共同でカンキツと水稲の大規模複合経営を実践されています。就農当初から経営規模の拡大に取り組みられ、カンキツは労力配分を考慮した品種構成や省力化を図るとともに、減農薬・減化学肥料栽培を行っています。水稲は近隣農家から作業受託を行い、水稲栽培の各種作業を委託農家の希望に応じて請け負っています。

平成12年からは海外からの農業研修生を毎年受入れ、農業指導を行うとともに地域の活動にも参加させるなど、地域の国際交流にも貢献されています。

現在は有田地方農業士協議会会長として、有田農業の振興や若手農業者の育成指導に努められています。また、地域の獣害対策のリーダーとして、サルにも対応した防護柵の設置に率先して取り組まれています。

### お知らせ



### 有田雨量データベースをリニューアルしました！

有田みかんデータベースでは、柑橘類の果実品質調査結果をはじめ、色々な情報を発信していますが、この度「有田雨量データベース」をリニューアルし、1モード、スマホ、PCで今までより見やすくなりました。是非ご活用下さい。

※場所別の累積降雨量を最大過去8ヶ月まで表示可能です。

有田雨量データベース

検索